

いつかの涙を光にかえて

～統合失調症の兄との絆：トイピアノによる再生～

第63回高知県精神保健福祉大会 プログラム

- PM 1:00 開会あいさつ 高知県精神保健福祉協会会長 数井 裕光
 来賓あいさつ 高知県知事 濱田 省司
 高知市長 桑名 龍吾
 高知県医師会長 野並 誠二
- PM 1:20 表彰式
- PM 1:30 休 憩
- PM 1:45 講 演 + 演 奏
 演題 **「トイピアノコンサート」**
 ～おもちゃのピアノが教えてくれたこと～
 講師 トイピアニスト・sound office 音旅舎代表
 畑 奉枝
- 講演 + 演奏の合間に休憩
- PM 3:45 閉会あいさつ 高知県精神保健福祉協会副会長 山崎 正雄



石川記念病院 デイケアあいはな

日時 令和6年 **10月16日** 水 午後1時～3時50分

場所 **高知県立県民文化ホール(グリーン)**

講演 + 演奏 演題 **「トイピアノコンサート」**
～おもちゃのピアノが教えてくれたこと～
講師 **畑 奉枝氏** (トイピアニスト・sound office 音旅舎代表)

定員 300名

入場無料

手話通訳・要約筆記あり



[主催・事務局] 高知県精神保健福祉協会
 高知市丸ノ内1-2-20 高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課内
 TEL:088(823)9669 E-mail:kochi-mhwa@mopera.net

[後援]
 高知県・高知県教育委員会・高知市・高知市教育委員会・香美市・香美市教育委員会・高知市長会・高知県町村会・(一社)高知県医師会・(社福)高知県社会福祉協議会・(公社)高知県理学療法士協会・(一社)高知県作業療法士会・高知県臨床心理士会・高知県精神保健福祉士協会・高知県医療ソーシャルワーカー協会・(一社)高知県社会福祉士会・高知県精神障害者家族会連合会・(公社)高知県看護協会・(一社)日本精神科看護協会高知県支部・高知県精神科病院協会・高知県精神科診療所協会・(独)労働者健康安全機構高知産業保健総合支援センター・高知県民生委員児童委員協議会連合会・(特非)高知いのちの電話協会・NHK高知放送局・高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・高知ケーブルテレビ・エフエム高知

第63回
高知県精神保健
福祉大会
大会要旨

いつかの涙を光にかえて

～統合失調症の兄との絆：トイピアノによる再生～

大会実行委員長 福本 光孝

この度は、第63回高知県精神保健福祉大会にご来場いただき、厚く御礼申し上げます。この大会は昭和30年代に始まり、長い歴史があります。今回、私が実行委員長を務めさせていただくことになりました。

精神保健福祉の大会という、医療や看護、制度などを専門的に話し合う場をイメージされるかもしれませんが、必ずしもそうではありません。本大会は、精神保健福祉に携わる者だけでなく、広く一般の方々が一堂に会し、時代に応じた精神保健福祉の知識や理解の共有、交流を深める機会です。

この会にトイピアニストの畑奉枝さんをお招きしました。ご本業のトイピアノコンサートはもちろん、たいへんお忙しい中で、各地域の家族会の皆さまと連携を取りながら、精神保健福祉に関する講座やワークショップの開催などに精力的に取り組んでおられます。

勉強に優れていたお兄様が、高校時代に統合失調症と診断されてから現在にいたるまで、畑さんとそのご家族には長い時間と多くの涙が流れました。畑さんは音大を御卒業後、皆が知っている本物のピアノだけでなく、「不完全な楽器」と彼女自身が言われるトイピアノを組み入れたピアノ演奏で、ご自身の音楽スタイルを築かれてきました。今回はその演奏の合間に、お兄様の病氣と向き合ってきた畑さん一家のストーリーを語っていただきます。子供の頃にお兄様も向き合われたピアノの世界、彼の音楽の時計は発病からずっと止まったままでした。今日は、お兄様と畑さんの音楽の時間を再生させた、小さなトイピアノの調べに耳を傾けたいと思います。

畑さんのご家族のストーリーを通じて、精神疾患の方とサポートするご家族への理解や共感を深め、共に支え合うという機運が少しでも醸成されることを願います。完全無欠の支援には多くの社会資源が必要となり、現実的には難しいかもしれません。しかし、どの家庭であれ個人であれ、精神疾患に限らず、脳卒中や悪性腫瘍、さまざまな難病と診断される可能性はあります。その際に「家族だけでなく、社会や近隣の誰かが気にかけてくれる」という感覚は心強い支えになるはずです。

最後に、多くの方々のご協力とご支援に感謝いたします。この大会が皆様にとって有意義なものとなることを心より願います。ありがとうございました。

第63回高知県精神保健福祉大会開催にあたって

高知県精神保健福祉協会 会長 数井 裕光

第63回精神保健福祉大会の開催にあたり、多くの皆様にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私たち協会では、ここ数年間、「あり方検討委員会」を組織し、本協会の将来像、あり方について検討して参りました。まず現状把握を行ったのですが、その中で、入院中心の医療から外来診療、さらには福祉・教育などに関連領域が拡大している、少子高齢化の影響を受け対象疾患も多様化している、活動がマンネリ化しているのではないかと、当協会の知名度は決して高くないのではないかと等が挙げられました。

そして現状に即し、かつ県民の皆様が必要とされ、頼りにされる協会を目指し、自らを変革しようとしています。その一つの形として、昨年度から本大会のあり方も少し変化させました。すなわち、これまでは、精神保健に関する時々のトピックについての学習に主眼に置いていたのですが、多くの県民の皆様に関心を持っていただける、やや柔らかなテーマを選択するようになりました。昨年度の本大会にご参加いただいた方も多いと思いますが、昨年度は「アンパンマン」、「やなせたかしさん」についての講演を拝聴いたしました。

さて、今年度のテーマは、「『いつかの涙を光にかえて』～統合失調症の兄との絆：トイピアノによる再生～」で、畑奉枝さんにご登壇いただきます。ご講演に加えて、トイピアノの演奏も拝聴できるとのことです。石川記念病院の福本光孝大会実行委員長の、斬新で素晴らしいご企画です。私自身、プロのピアニストのトイピアノ演奏は聞いたことがなく、とても楽しみにしております。年に1回の本大会を楽しみにされている皆様も今年度は格別の機会になると思います。お近くの方も誘いいただき、少しでも多くの方とこの一時を共有したいと思っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



講師

トイピアニスト・
sound office 音旅舎代表

畑 奉枝

はた ともえ



講師プロフィール

愛媛県出身。武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。フリーのピアノ奏者としての活動と音楽教室の経営を行った後、約10年間音楽事務所にてコンサート企画・制作・演奏部門の責任者として、多ジャンルのコンサート作品を手がけた。

独立後、2008年（sound office 音旅舎）を設立。その頃出会ったトイピアノに触発され、トイピアノを駆使したオリジナル舞台のプロデュースと演奏活動を始め、全国各地のイベント・フェスティバルなどにも数多く出演。作詞作曲の委嘱作品も多い。2010年、オリジナル作品が「厚生労働省社会保障審議会推薦文化財」に選定されるなど、ソロ演奏から各分野のスペシャリストとのコラボレーションまで多彩な作品を持ち、CD・DVD・写真集・著書の出版も多岐に亘る。

音楽のみならず、2018年著書『いつかの涙を光にかえて』（合）ホシツムグ刊）出版を機に、統合失調症の兄と音楽を通じて交流を取り戻した体験を“人権”“福祉”イベントや講演会、人権授業等にて語る活動も展開中。



講演 タイトル

「トイピアノコンサート」

～おもちゃのピアノが 教えてくれたこと～



“トイピアノ”との出会いは、今から約16年前。たまたま訪れた骨董市でのことでした。その名の通り“おもちゃのピアノ”の音色に、懐かしさや素朴さ、幻想観など、他の楽器にはない魅力を感じ、自身の演奏活動の中心的楽器として向き合い始めました。

それからさらに一年半ほど経ったある日、たまたま実家にトイピアノを持ち帰り、父と兄に見せた時。何も言わずストンとトイピアノの前に座った兄は、いきなり即興で音楽を奏で始めました。何十年も前に統合失調症を発症して以来、心を閉ざし、兄妹らしい会話をした記憶すら無かったというのに……。そこで奏でられた兄の音楽は、純粋さと優しさに満ちていました。

私たち兄妹の絆を取り戻すきっかけとなった、トイピアノ。本日は、4台の個性異なるトイピアノとグランドピアノを組み合わせた音楽をお届けすると共に、精神障害を持つ兄の長年の想いや家族の体験をお伝えいたします。私たち家族の物語が「障害とは」「家族とは」「互いを認め合うことの大切さ」「不完全な存在だからこそ持つ力」などを考えるきっかけになれば、これほど嬉しいことはありません。



著書『いつかの涙を光にかえて』
出版社：(合)ホシツムグ刊